

第 4 回 岬町総合計画審議会 議事概要

開催日時	令和 2 年 11 月 6 日（金）14 時 00 分～16 時 00 分
開催場所	岬町役場 3F 第 2 委員会室
出席者	大浦委員、河野委員、下村委員、奥野委員、松尾委員、出口委員、北本委員 五反田委員、茂野委員、四至本委員、下出委員、田中委員、寺田委員 寫岡委員、小川(宣)委員、柴崎委員、早川委員
欠席者	小川(日)委員、辻下委員、西田委員
事務局	西総務部長、窪田総務部理事兼財政改革部理事、寺田総務部理事、岩田企画地方創生課長、多田企画地方創生課主査（答申の受諾）中口副町長
傍聴者	3 名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第 3 回総合計画審議会について (2) 第 5 次総合計画（はじめに～基本構想）に係るパブリックコメントについて (3) 第 5 次総合計画（基本計画第 1 章～第 3 章）について (4) 第 5 次総合計画（基本計画第 4 章～第 6 章）について (5) 次回審議会日程について (6) その他 3. 閉会
資料	資料 1 第 3 回岬町総合計画審議会議事概要 資料 2 第 5 次総合計画（はじめに）最終案 資料 3 第 5 次総合計画（基本構想）最終案 資料 4 第 3 回岬町総合計画審議会 意見要旨と対応方針・修正案 資料 5 第 5 次岬町総合計画（基本計画第 1 章～第 3 章）素案改訂版 資料 6 第 5 次岬町総合計画（基本計画第 4 章～第 5 章）素案 資料 7 第 5 次岬町総合計画（基本計画第 6 章）素案

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認 ・委員総数 20 名の内 17 名が出席しており、会議が成立していることを確認。 ・会議の公開、傍聴の確認
	<p>2 議事</p> <p>(1) 第 3 回総合計画審議会について (資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不明点や意見がないようなので、次の議事へ進む。
事務局 会長	
事務局 会長	<p>(2) 第 5 次総合計画（はじめに～基本構想）に係るパブリックコメントについて (資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・只今説明のあったパブリックコメントの内容とその対応について、不明点や意見はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3 の 4 ページに、阪神高速湾岸線、大阪湾岸道路の延伸について検討するとあるが、これは国の事業であることから、要望すると修正させていただく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本町において、大きな都市構造をつかさどる将来に向けての大事な道路を位置づけるという説明であった。約 20 年前、第二国土軸で紀淡連絡道路等が位置づけられ、本町も今後の活性化のため総合計画へ記載されていると認識している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 で、1 行だけ 5 ページにかかっているが、最終的にはレイアウトの調整を行う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントを受けて、事務局が行った土地利用図と道路の軸、国土軸などの修正について了承していただいた。
	<p>(3) 第 5 次総合計画（基本計画第 1 章～第 3 章）について (資料説明)</p>
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会で議論した内容を踏まえた修正案を見ていただいた。不明点や意見はあるか。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・6 ページ「障がい者福祉の推進」で、進捗指標に障害者手帳保持率を据えることは、そぐわないのではないか。障害者手帳は申請があり、条件に合えば交付するものである。 ・現計画では指標が所持者数になっていたが、今回は所持率となっている。しかし、所持率と変更しても違和感がある。ただし、本来は障害者手帳を交付すべきなのに交付できていないという、行政としての障害がある方への状況把握という意味だとしたら理解できる。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・値は 6.7%や 7.9%となっており、この数値にも解説が必要だ。 ・この値は、町の人口に占める、障がい者の方が手帳を所持している割合という理解でよろしいか。 ・お見込みの通りである。考え方については、原課から挙がっている内容で、障害福祉施策を展開する中で、地域でどの程度の割合で障がいのある人が生活しているかを把握するかにより、今後の施策の方向を見出すためだと伺っている。
会長 副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・障害を持っている人は、必ず手帳を保持しているという理解で良いのか。 ・本来 100%になるはずだが、何らかの理由で 100%になっていないなど、問題点がない限り、この指標を採用するべきではない。申請があればそれに対して適切な判断を行い、交付するというものなので、目標達成のために死基準を引き上げたり、審査を甘くすることができてしまう。
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この手帳を持っていない人は、障害を有していないという判断なのか。 ・手帳不所持でも、障害を有している人はいる。障害者手帳は医療機関で受診した際に取得を勧められるケースがほとんどを占めていると考えている。 ・また、更正医療など、障がい者医療関係の医療制度を受ける際は、必ず手帳が必要となるため、申請を行う。
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような説明が必要ではないか。障害者手帳を所持していると国や町からサービスを受けられるということなので、少し障害とおぼしきものがあれば、手帳の取得を推進していくべきだ。しかし、目標値の設定は難しい。 ・原課と調整し、この指標を採用する際は注釈を加える。他の指標を採用する可能性も含め、次回の審議会で報告する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この指標は、所持率に変更しても依然として違和感を覚える。相談体制の確立や、相談から社会資源につながるような指標といったソフト面の構築に関する指標としたらいかがか。
会長 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画以外でも、各種計画に指標はつきものだが、直結する指標は難しい。 ・意見があったように、各部局のマスタープランで使用している指標で代替するか、指標の意味合いを加筆するなどといった工夫が必要だ。 ・指標は引き続き検討を進める。 ・2 ページ「健康づくりの推進と医療体制の充実」で、検診の受診率が 2025 年は高く設定されている。これだけ上げることができる抜本的な施策が求められるが、それはあるのか。特に、胃がんの検診受診率が 5 年間で 40.0%に上がるというのは裏付けがあるのか。そのような施策の裏付けがあるなら本文に記載していただきたい。 ・5 ページ「高齢者福祉の推進」では、高齢者の集いへの参加者数が 2,196 人から 2,220 人へと、24 人しか増えていない。介護保険関係の総合事業や社協が実施しているサロンなど、加えるものは他にもある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・胃癌検診の受診率は、「地域保健・健康増進事業報告」の目標値を掲載している。目標値を修正するか、原課と調整を行う。 ・高齢者の集いは、年間の参加者数を勘案し、現状維持の目標掲げるというこ

	<p>とだったので、丸めた数字とした。高齢者に介護予防の観点から、様々な行事に参加して、健康維持につなげる行事であることから、もう少し高い値とするか検討する。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・岬町の高齢者は軽度者が多いという特徴があることから、集いのニーズはあるだろう。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これは高齢者が集まるイベントが多くあり、その参加者の延べ人数という理解でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなくくりで高齢者の集い参加者数と書かれているが、ひとつの大きなイベントではない。要介護を受けていない人や、一般的な高齢施策で行っている参加者などが含まれている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの数が増えると目標値を達成するここになるかもしれないが、一つの指標になるだろう。原課と確認していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの参加者数は現状維持が目標とのことだが、それならば指標を入れなくてもよいのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の人口動態によって、総数と母数は変化することが考えられる。65歳以上の人数と、町の人口減少傾向を鑑みながら、様々な目標設定の方法があるだろう。 ・ただ、しばらくは高齢化社会が続くので、それらの点を原課と確認し、目標設定をしていただきたい。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・14ページ「農林業の振興」で、耕作放棄地の単位が平方キロメートルになっているが、白書に倣ってヘクタールとするべきだ。 ・15ページ「漁業の振興」の漁獲量は、減少率を食い止めたいという意図で指標を設定していると思われるが、何を目標としているのか分かりにくい。年間の減少率を踏まえて、分かりやすい目標値を設定していただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の目標値を設定する際は、数値の根拠が分かるようにしていただきたい。本編に載せることはできないかもしれないが、現在の減少率を提示し、その減少率を改善するかたちと表現すれば、経年的に減らす人数を抑制しようという意思表示ができるかもしれない。検討していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の単位はヘクタールへと修正する。 ・漁獲量は603トンから397トンになっている。大阪湾では埋め立てによる栄養不足などが影響して、漁獲量が激減しており、昭和57年は11万4,000トンあったものが、直近では2万トンほどになっている。これでは分かりにくいので、減少率等に変更して、ぎりぎり食い止めているということが分かるような指標としたい。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業就業者数は良いと思うが、漁獲量はコントロールできるものではないので、その点を含めて検討していただきたい。 ・次回の審議会では第1章から第3章までは確定させる必要がある。原課と調整して、修正していただきたい。 <p>(4) 第5次総合計画（基本計画第4章～第6章）について</p>

事務局 委員	(資料説明) ・基本構想には国道 26 号線の 4 車線化について記載されているが、10 ページ「計画的な道路整備と維持管理」には記載されていない。もう少し具体的な表現とした方が良い。
会長 委員	・国道なので町が勝手に建設するわけにはいかない。 ・来週、和歌山市、阪南市で要望活動に伺う。国道だが、実際に活動を行っているので、具体的な表現をしていただきたい。
事務局	・町としても早期実現のために要望活動を行っているため、主要施策に「早期実現に向けて要望してまいります」というような表現を加える。
会長 委員	・基本構想と基本計画がリンクしている形としていただきたい。 ・7 ページ「交通安全・防犯対策の推進」の進捗指標で、刑法犯罪発生件数が 77 件となっている。件数を減らすという意図は分かるが、数字の根拠に違和感を覚える。 ・10 ページ「計画的な道路管理と維持管理」の施策の背景で、町道美化センター連絡船と町道向出連絡船とあるが、これはどのようなルートなのか教えていただきたい。 ・15 ページ「良質な住環境づくりの推進」で、空き家バンク登録件数が指標とされているが、民間の業者と変わらないように見える。行政が中に入って、空き家対策へ直結する前向きな指標としていただきたい。
事務局	・7 ページの刑法犯罪発生件数は、安全な社会を構築するために、1 割程度の減少を見込むと原課から報告があった。1 割とするべきか、2 割とするべきかは原課と調整する。 ・町道美化センター連絡線は、ピアッツア 5 に入る道で、現在歩道に接しており、信号もないので危険な状態となっているため整備を行う。町道向出連絡線は、町役場の前の道を進み、オークワの曲がる信号の整備を指している。緊急避難道路として整備を進めていく計画がある。 ・空き家バンクの登録件数は、岬町でも空き家が増えてきており、気軽に空き家バンクに登録できる仕組みに変更を進めている。現在は 2 件となっているが、これは原課と調整する。利活用されていれば問題ないが、利用されずにずっと 2 件のままであれば問題だ。
委員	・第 6 章の 6 ページ「情報化の推進」でホームページのアクセス件数が指標となっているが、これは情報化の推進とリンクしていないのではないかと。
事務局	・ホームページを使って申請ができるように整備をして、情報伝達の電子化が進めばおのずと閲覧件数は増えると考えている。
委員	・第 4 章の 3 ページ「循環型社会の構築」の進捗指標で、家庭系ごみ排出量が掲げられているが、事業系ごみ排出量についても指標として盛り込んだ方が良い。 ・第 6 章の 1 ページ「すべての人が輝き」は「輝く」の誤植ではないか。
会長	・ごみを家庭系のみとされているが、この点についてはいかがか。
事務局	・半減となっているのは、国の第四次循環環境基本計画の値を採用している。

委員	<p>事業系ごみについては、美化センターに排出量を把握しているか確認し、指標にできるであれば併せて掲げることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6章の見出しは「輝く」と訂正させていただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・11ページ「交通環境づくりの推進」でコミュニティバスの利用者数が指標となっているが、136,500人の算出方法が分からない。高齢化と人口減少が進む中で、路線網を増やさずこの目標値を達成できるのか。 ・バスの利用も大切だが、それ以上に南海多奈川線の利用者を増やして、存続させることが大切だ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの利用者数は、現状の値から5%ほど増加を見込んだ値を目標値としている。住民の意見を踏まえて、路線などは検討していく。 ・南海多奈川線の利用者数の少なさは懸念している。賑わいを増やすための施策をとるために、しっかりとデータを収集し、今後考えていく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進めば、高齢者のバスの利用者数も減ってくる。その点について行政はどう考えているのか。 ・人口減少になっても、一定の利用者がいる以上、バスを存続していく必要がある。利用促進に向けてノンステップバスの導入等を検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗指標は、基本的に改善していく目標がふさわしいと思うが、7ページ「交通安全・防犯対策の推進」の「交通安全教室開催数」は現状維持となっている。また、10ページの「計画的な道路整備と維持管理」の「町道改良率」60%前後で現状維持となっているが設定の根拠を記載してほしい。 ・同じ理由で、14ページ「下水道整備の推進」で「下水道処理人口普及率」お0.2%だけの上昇にとどまっている。他の市町村と比較して高い水準にあるから現状維持だとすればよいが、注釈を追記していただきたい。 ・15ページ「良好な住環境づくりの推進」で、「空き家バンク登録件数」は2件となっているが、それを維持していきたいということであればその旨を追記してほしい。
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・原課と確認して、本当に正しい指標として採用するべきかを検討する。 ・原課で策定しているマスタープランに指標が載っているのであれば、同じ指標で数値を変えることはできない。項目を変えるのか、知恵を働かせる必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・13ページ「河川・港湾の整備」で「深日港発着航路数」は航路が目標となっている。深日と洲本を結ぶ航路と、もう一つはどこか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現行は社会実験運航をしているものの、現在は0航路となっている。栈橋の整備を大阪府に要望している段階で、整備された際には2事業者の想定をしており、洲本を中心に航路の復活に向けた取り組みを行っている。マリーナシティや南港など、原課の意見を踏まえて2航路とした。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・5ページ「消防・救、具体的に記載していただきたい。 ・来年度から3か年計画で、体育館の中に大型のエアコンを設置し、停電時でも稼働できるようにLPガスを使っての自家発電装置も設置するという計画がある。その点について記載するべきだ。

事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまで記載してよいか、原課と確認する。 ・先ほどの航路の話で、3年間社会実験を行ってきた中で、その当時の4倍の利用者数を集めなければ民間事業による採算が取れないと伺っている。そのような中で2航路を就航させることは可能なのか。 ・港湾を活かしたまちづくりを目指す施策の方向性は記載されているが、河川の維持管理について成果指標は設けているのか。 ・12ページ「公園の整備・維持管理」について、「いきいきパークみさきの利用者数」が進捗指標となっている。岬町はひとりあたりの公園面積が大阪府下で最も多い。その中で、みさき公園の今後や、公園の管理主体については課題だ。利用者数を指標と据えるのは重要だが、公園の管理主体を指標に入れないと立ちいかなくなるのではないか。多市町村だと、公園を維持管理しながら活用方法を探る、パークレンジャーのような組織が作られている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・深日港は、物流拠点や災害拠点としても進める必要があり、航路数とは別の話になるが、棧橋整備を求めるといった観点からこのように基本計画に書かせていただいている。 ・河川の指標が無いことについては、原課と調整をして、河川の管理維持や整備箇所数など、記載できる方向で進めていく。 ・公園の整備管理について、いきいきパークみさきは管理者が居るが、みさき公園は今後の大きな課題だ。民間が運営をしていく中で具体的な方向性が定まっていないため、みさき公園について記載することは難しい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・大川を含めて二級河川は大阪府が管理しているが、普通河川や準用河川は市町村が管理しているため、すぐ対応できるように予算取りがされている。どのように進めていくかは、どこの市町村でも課題となっている。河川全体を書ききるのは難しいので原課と相談してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・淡輪の番川を清掃している団体があったと記憶している。「みんなでつくる」がキーならば、そのような指標を採用してはいかがか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・アドプト・リバーやアドプト・パーク、アドプト・ロードなど仕組みがある。アドプトとは維持管理を地元の方に委ねる制度で、そのような活動を町として支援する可能性は考えられる。 ・都市公園の一人当たり面積は、大きな府営公園もカウントされるので、適切な指標かは判断が必要だ。人口減少が進むと、人口が増加傾向にある自治体以外は、ひとりあたりの公園面積は増えていくため、注意を要する。 ・泉佐野丘陵緑地は研修を受けた府民の方がボランティアで公園整備を行っている。チェーンソーや重機を使わず、里山的な都市公園を再生しようとしている。また、西宮市や神戸市では公園で子どもたちと一緒に遊ぶような、応援活動に参加している人が多い。 ・街区公園や近隣公園、地区公園と言われる住区基幹公園は地元の方が自ら講演を維持管理したり、運営したり、マネジメントすることが理想と言われている。その仕組みを整えることが町に求められている。各部署で、町民の参画型でマネジメントを進めて、パートナーシップを進めていくことが大切だ。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市は公園ごとに公園愛護会をつくり、公園の維持管理のサポートを行っている。アクションプランで地元の人と一緒に公園の維持管理活動ができる仕組みについて検討してほしい。 ・4 ページ「自然環境の保全と生物の多様性」で、「里山利用者数」が指標となっている。これは、自然学習で来た子どもたちや里山管理団体の人を合算しているのか。 ・また、全体的な話として、延べ人数なのか実数なのか、など、整理していただきたい。また、15 ページ「良質な住環境づくりの推進」の「空き家バンク登録件数」は年に 2 件なのか、5 年で 2 件のか判断がつかない。丁寧に記載してほしい。 ・里山利用者数は、孝子の森で中孝子管理組合、みさき里山クラブが活動しており、その中で自然学習活動やレクリエーションの提供を行い、地域の子どもが活用している。また、大人の林間学校や自然体験学習のイベントを実施している。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・単位は原課と精査して分かりやすいものとしていく。 ・14 ページ「下水道整備の推進」で、下水道処理人口普及率の目標値は 2025 年に 79.0%となっているが、多奈川の東畑、西畑、孝子山、淡輪といった地域の住民は 100.0%を望んでいると思う。築 40 年以上の住宅は日本庭園を造っていることから、便槽や簡易水洗を取り付ける場所がない。そうすると人口は減るばかりで、若い人も入ってこない。なぜ 79.0%という目標値としたのか。
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道供用開始工事済みの区域を年度末の行政人口で割ったパーセントと原課から聞いている。 ・コスト面から 100.0%に近づけることは難しいと思う。大阪府内で 80.0%近くあるというのは、健闘していると思う。 ・これから、自治体の収入減が見込まれる中で、立地適正化計画等の策定を推進し、市町村全域に同じような公共サービスをするという考えから脱却しようとしている。このような中で、下水道普及率や個別浄化槽の問題は、今後課題となる。 ・住民サービスをどこまで向上させるかは、担当課の中で予算と時期、地域ごとの差異を考えつつ進めていく必要がある。今後 10 年間を見通して、どのような文言にするかは慎重に検討していただきたい。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・原課と調整し、文章を検討する。 ・住民から見れば、へき地であろうと、軒数が少ない地域であろうと、住民サービスを等しく受けることは権利であるので、考慮していただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域と市街化区域でのサービス基準などを考慮しながら、できる限り住民全員に公共サービスが行き届くようにするべきだが、順序や予算の問題が絡んでくるため、文章は工夫してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第 6 章の 4 ページ「人権施策の推進」の進捗指標が「いじめが駄目と考える児童の比率」が採用されており、現状 88%のものを 92%とするとあるが、小

事務局	<p>さい子どもを持っている親としては、100%を目指していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施している児童、生徒へのアンケート調査に基づいて、その数字を挙げたと原課から聞いている。100%を目指すべきというのはもっともな指摘であることから原課と調整する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3 ページ「循環型社会の構築」で、再資源化を推進するために、資源ごみの回収とリサイクル率に言及してはいかがか。 ・5 ページ「消防・救急、危機管理体制の充実」で、自主防災組織数と、防災訓練を実施した回数を進捗指標に入れてはいかがか。 ・7 ページ「交通安全・防犯対策の推進」で、町内にある防犯委員会をボアランテアで募ることができる。それに関連した進捗指標を盛り込んではいかがか。 ・15 ページ「良質な住環境づくりの推進」で、空き家バンクは、登録だけではなくマッチングすることが大切だ。マッチング件数や空き家相談会の実施回数を指標に盛り込んではいかがか。 ・第6章の2 ページ「参画・協働のまちづくりの推進」で「岬“ゆめ・みらい”サポート事業数」と「自治区（会）加入率」が指標となっているが、まちづくりを行っている団体はほかにもあるので、その各種団体への加入率を入れてはいかがか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・原課と相談して、次回の審議会で説明をしていただきたい。
事務局	<p>(5) 次回審議会日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回審議会は、12月23日水曜日、午前10時から行う。
事務局 会長	<p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想について、会長から副町長に対して答申を行っていただく。 ・それでは、構想を答申させていただきます。 ・令和2年11月6日。岬町長、田代堯さま。岬町総合計画審議会会長、下村泰彦。 ・第5回岬町総合計画基本構想についての答申。 ・令和2年3月16日付、岬企第484号で諮問のありました、第5次岬町総合計画基本構想について、本審議会において慎重に審議した結果、別添のとおり取りまとめたので答申します。 ・なお、今後はこの答申を尊重され、基本構想に掲げる将来像「みんなでつくる恵み豊かな温もりのまち“みさき”」の実現に向け最大の努力をされるとともに、計画の推進に当たっては、住民や事業者との協働と連携によりまちづくりを推進し、計画的かつ着実に取り組まれますよう申し添えます。
副町長	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重に審議していただき、感謝申し上げます。 ・「みんなでつくる恵み豊かな温もりのまち“みさき”」を目指し、行政一丸となって、議会とも協議しながら進めていきたいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想を答申することができた。これまでのご協力に感謝申し上げます。

会長	<p>3 閉会</p> <ul style="list-style-type: none">・次回審議会では、基本計画第4章から第6章まで、今日出た質問や意見を事務局が担当課と調整して、回答していただく。・これにて閉会する。 <p style="text-align: right;">(終了)</p>
----	---